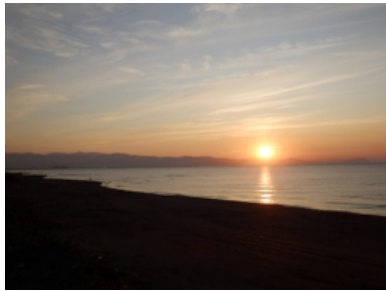


私たちの石狩湾を 巨大洋上風車の海にしないでください!!



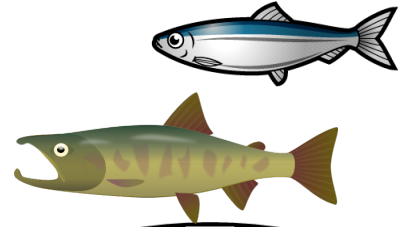
美しい景観
が一変

風車からの
騒音、低周波・
超低周波音の
健康被害



睡眠障害

めまい・頭痛等



ニシンや鮭は
大丈夫?

巨大洋上風車はいらない！ 私たちは石狩湾新港と石狩湾一般海域での洋上風力発電事業に反対します。北海道知事、札幌市長、石狩市長、小樽市長宛ての署名にぜひご協力ください。

<署名用紙に記載した要望事項の抜粋>

●私たちは、石狩湾新港と石狩湾一般海域での洋上風力発電事業の中止を求めます。

合同会社グリーンパワー石狩は、2020 年着工を目指し石狩湾新港洋上風力発電事業〔石狩湾新港管理組合が公募 8,000kW・14 基（出力 10 万 kW に調整）〕を、コスモエコパワー株式会社は、石狩湾一般海域（道の推薦後、国の促進区域に認定が条件）に、8,000～12,000kW・最大 125 基（出力 100 万 kW）の巨大事業を進めています。また、北海道電力株式会社も 30～50 万 kW の洋上風力発電事業推進を表明しています。

理由1 健康影響が大いに懸念されます。私たちはモルモットではありません！

石狩湾周辺の人口密集地（石狩市、小樽市、札幌市手稲区・北区 影響人口 40 万人超）は、洋上風車の大型化で低周波音等が遠くへ及ぶため、広範囲で影響を受けます。

理由2 景観が台無し！ 失われる海辺の自然の風景、日本海に沈む夕陽の光景

札幌テレビ塔 1.5 倍高の超巨大風車が林立。海水浴場から海辺の自然景観や夕陽が楽しめなくなります。

理由3 天然記念物オジロワシのバードストライクはあってはならない！

自然豊かな湾岸部と海域は多種多様な鳥が生息。既設大型風車と相まって野鳥・海鳥への影響は必至。

理由4 海への自然への影響が心配！

石狩湾は生物多様性の高い重要な場所。海流や漂砂への影響が海岸の形状、海の生態系へ及ぶか懸念。

理由5 漁業への影響はもっと心配！ サケ、ニシン、シャコ、カレイ、ホッキは大丈夫？

工事中に発生する汚泥やブレードの回転に伴う振動が水産資源に与える影響は不明です。

<署名取りまとめ団体（石狩湾洋上風車建設反対道民連絡会）>

・構成団体：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 銭函海岸の自然を守る会 北海道自然保護協会
日本野鳥の会札幌支部

・事務局：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会 代表 安田秀子

〒061-3211 石狩市花川北 1 条 5 丁目 307 電話：090-6211-1602 E-mail: h.yasuda1007@icloud.com

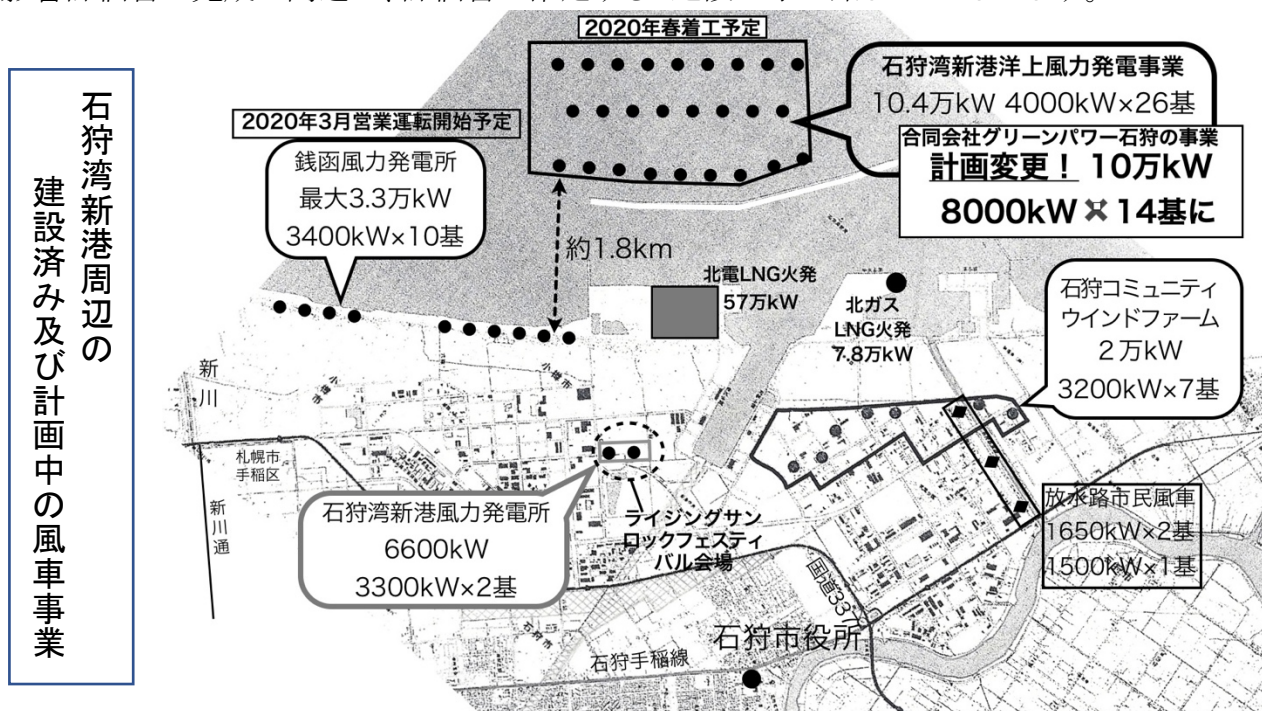
海も陸も、もうこれ以上の風車はいらない！！（石狩の漁師さんの声です）

●（仮称）北海道石狩湾沖洋上風力発電事業 コスモエコパワー株式会社が、最大高 245m もの超巨大風車を 100 基近く、石狩湾内の一般海域に計画。実現のためには、環境影響評価書確定が必須（配慮書公示済）。石狩市・小樽市・漁業関係者等が合意し、北海道知事が国へ推薦後、石狩湾が国の促進区域として選定され、事業者公募で決定されると 30 年間、占有でき有利になります。12/20、道は「洋上風力推進連携会議」を設立、検討を開始済み。

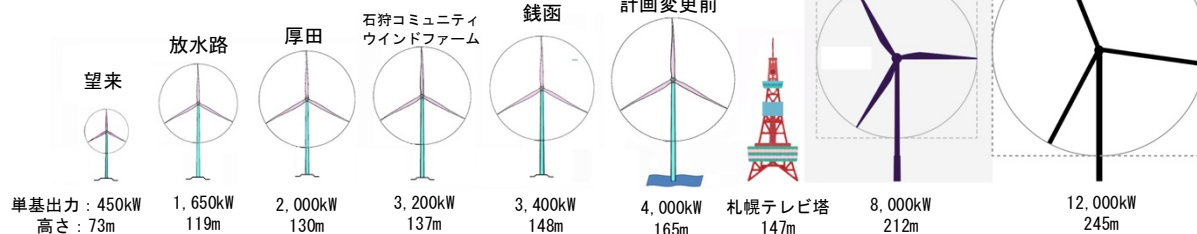


石狩湾新港洋上 8000kW・14 基 10 万 kW

●石狩湾新港洋上風力発電事業 国と石狩湾新港管理組合が推進。海岸からわずか 2km に高さ 200m の超巨大風車 14 基を計画。陸域の工業団地内や周辺ではすでに 3000kW 級の大型風車が 19 基も稼働。これらとの累積影響は未評価です。環境影響評価書の完成が間近で、評価書が確定すると建設工事が始まってしまいます。



風車の大きさの比較



<応援します！ 私も反対です！！> 導入は避けるべき

石狩湾周辺には、石狩市、札幌市、小樽市など人口密集地が広がっており、大規模な風力発電施設を導入すれば、健康被害を訴える人も大勢現れるでしょう。風車から発生する音で、どんな健康影響が起きるのかをしっかりと検証し、被害が起きる可能性の高いエリアでの導入は避けるべきです。

加藤やすこ（環境ジャーナリスト、いのち環境ネットワーク）